

御 中

平成 年 月 日  
会社 日本躯体処理株式会社  
電話番号 03-5798-7561

## M S D S (製品安全データシート)のご送付案内とお願い

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のM S D Sを送付させていただきます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当M S D Sをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。

尚、誠に恐れ入りますが、M S D Sを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までF A Xにてご返送くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

敬具

店所記入欄

店所名 :	担当者 :
ご送付日	平成 年 月 日
M S D S送付先顧客様	Tel _____
製品名	_____
	_____
	_____
記入のうえ顧客様送付前に弊社にF A Xお願いします。	

## M S D S受領書

製品名

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

返送先

日本躯体処理株式会社  
FAX 番号 03-5798-0544

平成 年 月 日

貴社名 :

ご担当部署 :

ご担当者名 :

印 \_\_\_\_\_

ご住所 : \_\_\_\_\_ :

ご記入のうえ切り離さず本紙をそのまま返送先までF A Xにてご返送下さいますようお願い申し上げます。

## 製品安全データシート

会社 日本躯体処理株式会社

住所 東京都港区高輪2 - 20 - 30

電話番号 03-5798-7561 FAX 番号 03-5798-0544

M S D S No : 007

作成 2004年10月30日

製品名(化学名、商品名など) アスベロック (B材)

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名 : 有害成分含有せず  
分量 : 固形分 55% (±1%)  
化学式または構造式 : 有機物、H<sub>2</sub>O  
官報公示整理番号(化審法): 既存化学物質  
CAS No. :  
国連分類 : 国連の定義上危険物には該当しない。  
国連番号

危険・有害性の分類 分類の名称 : 分類基準に該当しない。  
危険性 : 知見なし  
有害性 : 知見なし  
厚生労働省指針値14物質は含有されていない。  
(アトアルデヒド・フタル酸ジ-n-ブチル・p-ジクロロベンゼン・イソヘキサン・ホルムアルデヒド・  
n-ナール・スレン・テトラカ・トルエン・o-キシレン・クロピリス・フタル酸ジ-2-エチルキシル  
・ダイジノ・フェルカブ)  
PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握など及び管理の改善の推進に関する法律)に該当する成分については含有していない。  
環境影響 : 知見なし

応急措置 皮膚に付いた場合 : 付着した衣服・靴等を脱ぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗  
浄する。  
眼に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼した後、直ちに眼科医の診断を受ける。  
飲み込んだ場合 : 多量の水又は微温湯等を飲ませ吐かせた後、よく口中を洗浄し、直ちに医  
師の診断を受ける。  
吸入した場合 : 蒸気・ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な  
場所に移動し、安静・保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。

火災時の措置 消火方法 : この物自体は燃えないが、水が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は、  
燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れがないよう水スプレーで  
周辺の設備などを冷却する。  
消火剤 : 水、粉末、泡沫など。

漏出時の措置 流路を毛布・土壌などでせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、少量流出の場合は、おが屑・土砂・パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。  
作業の際は、長靴・手袋・保護眼鏡等の保護具を着用する。  
河川・湖沼へ流出した場合は、必要に応じ、消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協などに連絡する。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 取扱いは換気のよい場所で行う。眼、皮膚への接触を防止する為、状況に応じ保護眼鏡・保護手袋等の保護具を着用する。スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、又はフィルター付の保護マスクを着用する。

保管 : 凍結・直射日光を避け、屋内で保管する。保管時の温度は5℃以下及び40℃以上にならないようにする。皮張り防止の為、使用後は密閉して貯蔵する。

暴露防止措置

管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 設定されていない。  
ACGH : 設定されていない。  
設備対策 : 状況に応じ、局所排気装置等を設置する。  
防護具 : 呼吸用保護具 : 着用が好ましい。  
保護眼鏡 : 着用が好ましい。  
保護手袋 : 着用が好ましい。  
保護衣 : 着用が好ましい。

物理/化学的性質

外観 : 乳白色の液体。  
沸点 : 約100  
蒸気圧 : 2300 Pa (20℃)  
揮発性 : 知見なし  
比重又は高比重 : 約1.05 kg/L  
溶解度(水) : 水で無限大に希釈可能。

危険性情報

引火点 : なし  
発火点( ) : - 爆発限界 上限 ; - % 下限 ; - %  
可燃性 : この物自体は不燃性。  
発火性 : なし  
(自然発火性・水との反応性)  
自己反応性・爆発性 : なし  
粉塵爆発性 : なし  
安全性・反応性 : 通常の手扱い条件では安定

## 有害性情報（人についての症例・疫学的情報を含む）

皮膚腐食性	:	皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。
刺激性 （皮膚・眼）	:	事例はないが、眼粘膜を刺激する。蒸気を吸入すると、頭痛等を起こす場合がある。
急性毒性 （50%致死量等を含む）	:	知見なし
がん原性	:	知見なし
変異原性 （微生物・染色体異常）	:	知見なし
生殖毒性	:	知見なし
催奇形性	:	知見なし
その他毒性 （水と反応して有害ガスを発生する等を含む）	:	知見なし

環境影響情報	分解性	:	知見なし
	蓄積性	:	知見なし
	魚毒性	:	河川などに流入した場合、エマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合がある。
	その他	:	知見なし

廃棄上の注意 廃棄は焼却により行う。清浄水等の廃水は凝集沈殿・活性汚泥等の処理により、清浄化してから排出する。排出に際しては、水質汚濁防止法に注意して下さい。また、廃棄物については、廃棄物処理法の定めるところに従う。

輸送上の注意 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。  
参考資料 / 日本エマルジョン工業会編「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」

適用法令 日本化学工業会編「製品安全データシート作成指針」の分類基準に掲げられた諸法令に該当しない。

その他 記載内容の問い合わせ先 : 会社 日本躯体処理株式会社  
住所 東京都港区高輪2 - 20 - 30 桜山第二ビル2F  
電話番号 03-5798-7561  
参考資料 : 日本化学工業協会編「製品安全データシート作成指針」  
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。

## 製品安全データシート

会社 日本躯体処理株式会社

住所 東京都港区高輪2-20-30

電話番号 03-5798-7561 FAX 番号 03-5798-0544

MSDS No : 007

作成 2004年10月30日

製品名(化学名、商品名など)	アスベロック (A材)
物質の特定	単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名	: シリカ(20~30%)、アルミナ、酸化カルシウム、炭酸カルシウム、酸化鉄など
分有量	: 固形分 100%
化学式または構造式	: $\text{SiO}_2$ 、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{CaO}$ 、 $\text{CaCO}_3$ 、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$
官報公示整理番号(化審法)	: 1-548、2-2408
CAS No.	: 7631-86-9、14808-60-7
国連分類	: 国連の定義上危険物には該当しない。
国連番号	: 該当なし
労働安全衛生法	: 通知対象物、政令番号331号

危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。
	危険性 : なし
	有害性 : 水と接触すると、アルカリ性を呈することがあり、眼・皮膚・粘膜等を刺激する。 アスベストは含有していない。 厚生労働省指針値14物質は含有されていない。 (アセチルヒド・フタル酸ジ-n-ブチル・p-ジクロロベンゼン・フェルペンゼン・ホルムアルデヒド・n-ナール・スリン・テトラカ・トルエン・o-キシレン・クロピリス・フタル酸ジ-2-フェルキル・ダイアジン・フェルカブ)
	PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握など及び管理の改善の促進に関する法律)に該当する成分は含有していない
環境影響	: 知見なし

応急措置	皮膚に付いた場合 : 石鹼または皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗う。
	眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。医師の手当を受ける。
	飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中をすすぐ。無理に吐き出させないこと。至急、医師の手当を受ける。
	吸入した場合 : 水でうがいをして、空気の新鮮な場所に移動し、安静にする。様子を見て必要であれば医師の手当を受ける。

火災時の措置	消火方法 : 不燃性物質であり、製品による火災は起こりえない。ただし、水との反応により、高温になる恐れがあるので周辺に可燃物を置かないこと。
--------	------------------------------------------------------------------------

消火剤 : 不燃性物質のため、必要としない。

007 2頁

---

漏出時の措置 掃き集めて、空き袋など適当な空容器に入れる。  
残りを多量の水で洗い流す。  
河川・湖沼へ流出した場合は、必要に応じ、消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協などに連絡する。

---

取扱いおよび  
保管上の注意 取扱い : 吸い込んだり、眼、皮膚、衣類などに触れない様に適当な保護具を着用する。  
適切な換気状態の下で作業する。高温物、スパーク、火災を避ける。  
空気中に大量に浮遊させないように注意する。  
保管 : 容器を密閉し、屋内貯蔵所に保管する。ボイラーなど熱源付近を避ける。水に濡れないように注意する。

---

暴露防止措置 管理濃度 : (労働安全衛生法・作業環境評価基準) 0.3mg/m<sup>3</sup>  
許容濃度 : 日本産業衛生学会(91年度版): 第2種粉塵  
吸引性粉塵 : 0.3mg/m<sup>3</sup>  
総粉塵 : 1.2mg/m<sup>3</sup>  
設備対策 : 室内で取り扱う場合には、換気装置または集塵機を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明示する。  
防護具 : 保護眼鏡、保護手袋、防塵マスクなどを着用する。

---

物理/化学的  
性質 外観 : 灰白色粉末  
融点 : 1100 ~  
密度 : 2.0 ~ 2.4 (g/cm<sup>3</sup>)  
溶解性 : 水に対して難溶

---

危険性情報 発火点( ) : データなし  
爆発限界 : データなし  
安全性・反応性 : 通常の取扱い条件では安定

---

有害性情報 急性毒性 : 知見なし  
刺激性 : 皮膚 ... 炎症を起こす恐れがある。  
眼 ... 刺激がある。  
粘膜 ... 刺激がある。  
その他毒性 : 知見なし

---

環境影響情報 分解性 : 知見なし  
魚毒性 : 知見なし  
その他 : 知見なし

---

廃棄上の注意 少量ずつ焼却炉で焼却処分する。焼却により発生した廃棄物の処理については、廃棄物の処理および清掃に関する法規に従って行うか、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

---

輸送上の注意 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

---

適用法令 労働安全衛生法 : 該当しない  
消防法 : 該当しない  
毒物及び劇物取締法 : 該当しない

---

その他 記載内容の問い合わせ先 : 会社 日本躯体処理株式会社  
電話番号 03-5798-7561

引用文献など :

危険・有害の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。